

第2回 まちづくり推進隊詫間 まちの魅力発掘コンテスト
応募書類

応募者名	川口 玲子 羽場 薫	団体の場合 担当者名	スタジオR+
住所	〒		
電話番号			
メールアドレス			
作品名	※内容が伝わりやすい言葉で簡潔に 「ここにあるもの、ここにしかないものこそ宝もの」		

1. あなたが提案する詫間町の魅力と地域資源

詫間町のどのようなところに魅力を感じるのか、できるだけ具体的に理由を添えて記載してください。

◆詫間町の魅力 A-「自然」

美しい瀬戸内海に囲まれた半島と島の町。豊かな緑。浜辺にはベージュの砂、太陽の変化にうつろう絵のような空と海は見飽きることがない。町を離れ長く都会にいと渴望するのはこのような郷里のなつかしい風景や町並み。これこそ一番の宝物もの。

◆詫間町の魅力 B-「物語」

浦島民話のもとより、古代から中世、近世と、歴史的史跡に恵まれている。また、祭りや季節の行事など古来伝わったものがたくさんある。地域資源でもある由緒ある神社仏閣と、これらの催しも併せて企画の一環に加えたい。

◆詫間の地域資源 C-「棚田／造船所跡／フラワーパークなど」

現在残されている棚田やみかんなどの休耕田。造船所跡など、一見負の遺産かと思われている場所や既にあるフラワーパークも新企画に添ってあらたに見直す。また可能なら、旧家の保護や廃屋もぜひ活用したい。

2. 魅力の活用プラン

あなたが感じるまちの魅力を、どのように活用すれば詫間町の活性化につながるのかを記載してください

◎このプロジェクトでは、デザインや色など統一感をもたせ「宝物」をより素晴らしくするため全体に目を配る専門家（Art director）の存在が重要。

*造船所跡は「海の駅」とし、市場やカフェ、案内窓口、貸し電動自転車や、駐車をまとめる。市場の資料=4にあり。

*そこから半島方面へはできるだけ自転車か町営バス利用とする。なお、大イベント時には要誘導。

*宿泊施設は「隠れ家風集合個建て」とし、建設運営を一般企業に委託。一方、比較的低価格の「カプセルホテル風宿舎」（☆4に資料あり）も同時に建設。お遍路宿としての利用もPRする。半島の緑に馴染む色や形が好ましい。

*フラワーパークはこのプロジェクトにあわせて参加型イベントなどを増やし、育種も再検討したい。 ☆=企画予定あり

3. プランの実施効果

プランを実施することで、対象地域にとってどのような効果があるのか、箇条書きで記載してください。

- ・「できるだけ自然を壊さず」を合言葉として半島や島にセンスのよい施設や各種案内表示なども統一整備することで、観光客に「故郷」を提供する。
- ・自然志向の若い家族には、半島や島を体験することで移住の可能性が期待できる。
- ・「海の駅」を中心に市場が住民との交流の場になり、情報交換できる。
自家栽培の作物や手作りのものを工夫して持ち寄ことで人気商品を産む可能性がある。
- ・海の駅エリアでは「雇用を産む」
新たな負の遺産を残さない。美しい自然を未来へ残す努力をするところには、世代を越えて交流や知恵の伝承ができる。

4. その他資料について

写真・絵・図・表・などを活用して、
さい



2 魅力の活用プラン（造船所跡）
「海の駅」の市場、カフェなど
（イメージ）



2 「宿泊施設」

カプセルホテル風建物（イメージ）

東京下町でもこれに近いモダンな建物が

外国人観光客にも人気だそうです

